

Web API を活用した新たな保険商品の提供

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 北沢利文、以下「当社」)は、決済プラットフォーム企業ストライプジャパンを利用する国内の EC 事業者を対象に、Web API を活用した保険商品(※1)を個別に設計しましたのでお知らせいたします。

1. 背景

国策としてのキャッシュレス推進もあり、2016年度のEC市場規模は約15兆円、成長率は9.9%と今後も大きな成長が見込まれる分野と言われております(※3)。そのような中、不正購入された商品代金を回収することができないチャージバック(※2)と呼ばれる事象も比例するように増加しており、大きな社会問題となっています。

そのような問題を解決するために、不正検知対策にも注力しており、また、豊富なWeb API(※4)と不正使用防止ツールである「Radar(※5)」を用意している大手決済プラットフォーム企業ストライプジャパン株式会社(以下、「Stripe社」)(※6)と連携し、Stripe社を利用するEC事業者にとって利便性の高い保険商品を個別に設計しました。

(※1)チャージバック(※2)が発生した際にEC事業者が被る「商品の未収代金」等をカード盗難保険に個別の特約を付帯して補償するもの。

(※2)クレジットカード保有者のクレジットカードが不正使用された場合に、クレジットカード会社はその代金の売上を取消すこと。その結果、販売元である加盟店はクレジットカード会社に利用代金を返金しなければならず(あるいは売り上げが入金されない)、さらに商品も戻ることはないため、損失が発生してしまう。

(※3)経済産業省「平成28年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備(電子商取引に関する市場調査)」出展

(※4)「アプリケーション・プログラミング・インターフェース」の略で、ソフトウェア同士が互いにやり取りをするためのインターフェースの仕様。APIを使用することにより、別のソフトウェアと連携したサービスの提供が可能となります。

(※5)Radarに関する詳細は <https://stripe.com/radar> をご覧ください。

(※6)Stripe社に関する詳細は <https://stripe.com/jp> をご覧ください。

2. 制度概要

Stripe社のWeb APIに、当社が提供する保険商品を組み合わせた制度を個別に設計しました。Stripe社が保有するEC事業者の情報を、APIで当社システムと連携することで、保険加入時の契約手続きや保険料決済の効率化、チャージバック発生時の事故報告の自動化を実現し、EC事業者にとって利便性の高い商品設計としています。

3. お手続きサイト

Stripe社の決済サービスを利用するEC事業者様は以下のお手続きサイトより本制度にご加入ができます。

<https://tokiomarine.secure.force.com/stripecbm/>